

発行：飯能市社会福祉協議会

ふくしの森ステーションあがの だより

開所日 原則、火～金(祝のぞく) 時間：9:15～16:15

所在地 吾野186番地1(吾野地区行政センター内)

電話 070-7792-2433/ファクス:042-973-8941

メール station-agano@hannosyakyu.or.jp

※暮らしの困りごと、お気軽に相談ください!

令和6年
5月号

A Tender Heart
やさしい心



「たすけあいあがの」を中心とした今後6年間の取組目標が決定!!



たすけあいあがのは、「はんのうふくしの森プラン」に基づき、地域住民同士が助け合い、私たち一人ひとりが力を少しづつ持ち寄り、誰もが安心して、支えあいながら暮らせる吾野地域を作ることを目指しています。近年希薄になりがちな、人と人、人と地域の繋がりを深めていき、お互いに支えあい、誰もが気楽に参加できる居場所(茶の間・サロン)、運転ボランティアによる「らくだ号」の運行など、地域のサポーターを中心に活動しております。

～明るく、みんなが住みたいまちを吾野地区ふくしの森活動計画に沿ってつくりましょう～会長：平沼弘

<スローガン> <取組目標> <取組内容>

みんなが住みたいまちを目指そう

1、こどもを育てる地域づくり

- ・自然を活かした楽しみながら学べる機会づくり
- ・地域の文化や歴史について学べる機会づくり
- ・吾野保育所、奥武蔵創造学園(奥武蔵小学校、奥武蔵中学校)と地域住民の交流

2、多様な交流の機会の創出

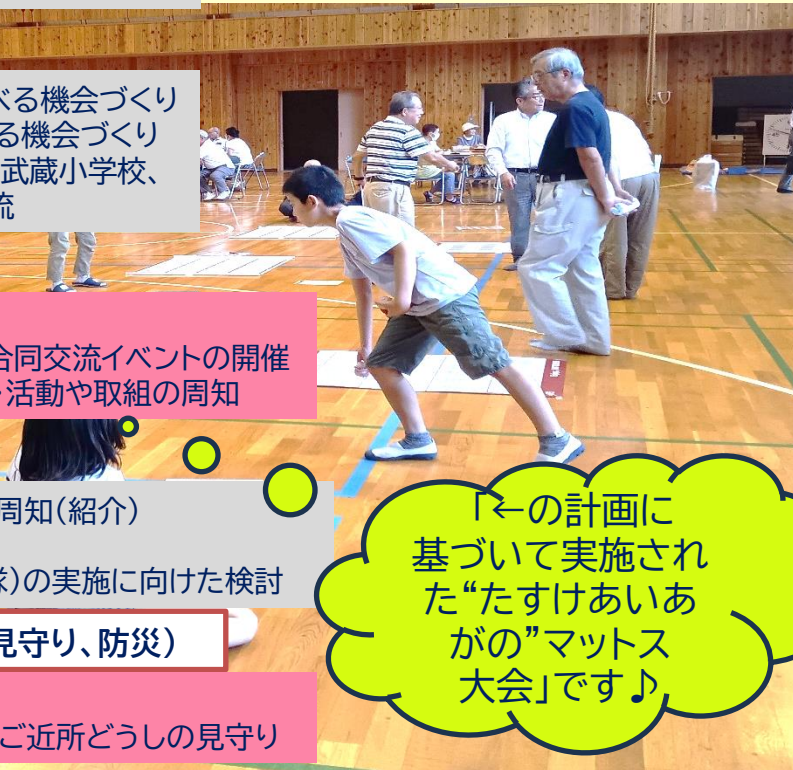
- ・住民が気軽に集まれる場づくり
- ・4地区(西川、吾野、北川、南川)合同交流イベントの開催
- ・交流人口の増加を目指した取組・活動や取組の周知

3、移動手段の充実

- ・らくだ号、奥武蔵らくらく交通の周知(紹介)
- ・ドライバーの募集と啓蒙活動
- ・家事援助と一体の送迎(お助け隊)の実施に向けた検討

4、安心して暮らせる地域づくり(見守り、防災)

- ・自主防災会=(自治会)との連携
- ・関係団体の協力による見守り ・ご近所どうしの見守り



「←の計画に基づいて実施された「たすけあいあがの」マツス大会」です♪

「第4次はんのうふくしの森プラン」

がスタートしました！〈令和6年度～令和11年度〉

【第4次プランの概要】

〈基本目標〉

【交】交流が生まれる機会と
外出しやすい環境をつくろう

【支】支え合いの仕組みをつくろう

【安】安心して暮らせる
仕組をみつくろう

〈社協の重点取組〉

- ・相談支援体制の充実
- ・多様な地域づくりの推進

第3次プランの成果（一例）

ふくしの森リーダーが誕生！

新たに地域活動を立ち上げ・既存活動の後継者になるなど、地域活動の中心となっていく「ふくしの森リーダー」。活動していく上で必要となる“知識、体験、つながり”を得て、25名のリーダーが誕生しました。

地域の居場所が増えました！

第3次プランでは、ふれあいいきいきサロンや、こども食堂など、地域の居場所が新たに10か所立ち上がりました。また、セブン・イレブン日高下川崎店と社協の共催で移動販売をスタート。買い物支援だけでなく、地域交流の場にもなっています。

第4次プランのポイント ～どこが変わったの？～

新たに「圏域別プラン」ができました

飯能市内を13地区に分け、それぞれの地区で話し合いを行いました。各地区の強みや生活課題を踏まえ、地区ごとの活動計画を決めました。

相談支援体制の充実

「ふくしのなんでも相談員」として個別の相談に応じるとともに、地域の課題解決に向け、地域活動の活性化を図るコミュニティソーシャルワーカーの全13地区への専任配置を目指します。コミュニティソーシャルワーカーの活動拠点であり、市民にとっての身近な相談窓口である【ふくしの森ステーション】も13地区への設置を目指します。

多様な地域づくりの推進

ふくしの森リーダーの育成に取り組むとともに、住民同士が出会い、参加することのできる場や支え合う関係性を広げ、交流や活躍の場を生み出していきます。

表紙はこちら



ふくしの森プラン
QRコード

